

6月の相談

☐ 開催日 時 時間 所 場所 問 問い合わせ先

法律相談（要予約） 7日(木)・21日(木)

時 13:30～16:30 所 市役所1階 市民相談室
問 市民生活課 ☎ 22-1116
※7月の予約は6月1日(金)から受付。

行政相談 12日(火)・26日(火)

時 9:30～11:30 所 市役所1階 市民相談室
問 市民生活課 ☎ 22-1116

登記相談 22日(金)

時 14:00～16:00 所 ひまわり会館1階
問 市民生活課 ☎ 22-1116

消費生活相談 平日開館

時 9:30～16:30 所 消費生活センター
問 消費生活センター ☎ 24-3251

特設人権相談 1日(金)

時 10:00～12:00 所 ひまわり会館1階
問 人権・男女参画課 ☎ 22-3094

人権相談 13日(水)

時 13:30～16:00 所 ひまわり会館1階
問 人権・男女参画課 ☎ 22-3094

女性の生き方なんでも相談（要予約）

☐ 5・12・19・26日 時 13:00～17:00
☐ 8・22日 時 13:00～16:00
所 市民会館2階 相談室
問 男女共同参画室分室 ☎ 22-0361

年金相談（要予約） 今月はありません

時 9:00～15:30 所 市商工業振興センター
問 徳島南年金事務所 ☎ 088-652-1511
※7月の相談日は5日(木)です。相談は1カ月前から電話による完全予約制となっています。

健康相談 1日(金)

時 10:00～11:00 所 ひまわり会館1階
問 保健センター ☎ 22-1590

栄養相談（要予約） 21日(木)

時 10:00～11:00 所 ひまわり会館1階
問 保健センター ☎ 22-1590

子育て家庭教育来所相談 10日(日)

時 9:00～12:00 所 富岡公民館2階
問 教育委員会生涯学習課 ☎ 22-3391

子育て家庭教育電話相談窓口

☐ 月曜日～金曜日（祝日除く） 時 9:00～12:00
問 子育て家庭教育支援チーム ☎ 42-3885

心配ごと相談 4日(月)・11日(月)・18日(月)・25日(月)

時 10:00～15:00 所 市民会館内社会福祉協議会
問 社会福祉協議会 ☎ 23-7288

6月の休日・夜間診療

軽症でも急いで治療の必要がある場合、市内の医療機関で受診できます。

●休日昼間 午前9時～午後5時

日	医療機関名	所在地	問い合わせ先
3日	阿南医師会中央病院内	宝田町	☎ 22-1313
10日	宮本内科明治橋診療所	羽ノ浦町	☎ 44-3700
17日	宮本病院	羽ノ浦町	☎ 44-4343
24日	むらかみ内科循環器クリニック	羽ノ浦町	☎ 44-1010

※市内の休日医療機関は、変更される場合がありますので、阿南市医師会（☎ 22-1313）までお問い合わせください。

●夜間（毎日）の当番 午後5時～11時

市内の医療機関または阿南医師会中央病院内
※阿南市医師会（☎ 22-1313）までお問い合わせください。

●小児救急医療体制

24時間365日徳島赤十字病院が小児救急患者を受け入れています。（事前の電話連絡は不要です。）

6月の市税

～市税の納付は口座振替が安全で便利です～

■市県民税（第1期、全期）

■国民健康保険税（第1期）

納期限は、7月2日(月)です。納め忘れのないようにしましょう。

●市税の口座振替について

軽自動車税と固定資産税（全期）の口座振替済通知書はすでに郵送しています。市県民税（各期）、固定資産税（各期）、国民健康保険税の口座振替済通知書は平成24年度最終納期後に郵送する予定です。

市税日曜相談窓口（市役所1階納税課）

6月24日(日) 8:30～17:00

また、税務課におきまして課税内容等に関する相談を同時に実施しますので、ご利用ください。

問い合わせは 納税課（☎ 22-1792）

税務課（☎ 22-1114）へ

スポーツ施設の6月の休館日

サンアリーナ	4・11・18・25日
那賀川スポーツセンター	6・13・20・27日
羽ノ浦総合国民体育館	4・11・18・25日
羽ノ浦健康スポーツランド	4・11・18・25日

人口と世帯数

人口 77,251人(+84) 世帯数 29,730世帯(+98)
 (男) 37,301人(+52) ●平成24年4月末日現在
 (女) 39,950人(+32) カッコ内は前月対比

編集室の

窓

長い鎖国の時代が明け、文明開化とともに日本にあふれた西洋文化。その象徴の一つが電灯照明です。明治11年（一般庶民には明治15年）に東京・銀座に灯された日本初の電灯（アーク灯）は、多くの人に感動と希望を与えました。その後、電気の普及とともに目覚ましい経済発展を遂げ、私たちはスイッチ一つで明りがつき、テレビがつく豊かな暮らしを手に入れました。その一方で、電気の恩は薄らいでいます。日本で供給されるエネルギーの約96%は海外から輸入されたもので、その燃料となる石油、石炭、天然ガスは、作られた何万倍もの速さで消費されているといわれています。

震災を機に見直された節電への取り組み。私たちの暮らしを支え、欠かすことができない電気の恩（ON）をOFFで返す努力と工夫が求められています。（山田）